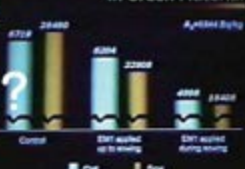


第3回 EMサミット in 東京

EM1 and Sr-90 Accumulation in Green Material



微生物と放射能、どこまでわかっているの？

＊ 私たち、生き抜くために！ ＊

11月10日(日) 開場 9:30
ヒューリックホール

＊
微生物と放射能って、
なにをそんな
トンデモなことを…

では、そもそも被ばくしたら、身体の中で何が起るの？
どのくらい被ばくしたかに終始するよりも、どれだけ発病を予防できるのか…。
それがEMサミット、市民の手作りの会の目的です。
今から17年前、一人のベラルーシの科学者が、EMを使用した植物の移行実験と動物実験から、旧ソ連の考えた人体の被ばくにかかわる重大なコードから垣間見えます。それは、現在の日本ではアンチエイジングの当然の概念に使用されている衝撃。被ばくは酸化、酸化は老化。私たちが、子どもたちが生き延びられるために…。

そして、どうやら放射性物質の移行抑制はカリウムチャンネルだけじゃないことも少しづつ酵素との関係ではないか、というふうに研究が進んできました！
今わかっていることを確認し、抵抗力を落とさずに生きのびたい、それが私たちの願いです。

＊第一部＊ EM都市伝説を検証する！ チェルノブイリからフクシマへ

ベラルーシの科学者が考えた抗酸化力の証明と、体内被ばく低減など、さまざまなEMや微生物の可能性について考えます。
また、市民が行った独創的な実験も発表します。

＊第二部＊

ベラルーシ科学アカデミーの 放射能防護と研究発表

- 1 ベラルーシ医学アカデミー研修・甲状腺医療の報告
布施純郎(小杉中央クリニック)
- 2 ゲストスピーチ ベラルーシの放射能対策・法律のあゆみ
ベラルーシ共和国特命全権大使
セルゲイ・ラフマニノフ閣下(元ベラルーシ科学アカデミー副総裁)
- 3 ベラルーシ放射線生物学研究所IRB

研究発表

- ① EMによる放射性物質の移行抑制と、生産性に及ぼす影響
アレクサンダー・ニキティン博士
- ② 外部被ばくさせたラットにおけるEMやEM飲料の影響
アレクサンダー・
ナウモフ博士(研究所所長)

なお、発表者の都合により
プログラムの前後が
ございますことを
ご了承くださいませ

→裏面参照



ナウモフ博士



ニキティン博士

申込み方法 会費1500円(託児あり・要申込み)

① ホームページから

<http://www.emsummit.org>

(携帯からの場合は返信メールか受け取れるように設定願います)

② FAXから

FAX 044-798-5197

申し込み
締め切り
11月5日

お問い合わせは tokyo@emsummit.org

■ 共 催 ■

EM女子会・東京EMサミット実行委員会・
NPO法人チェルノブイリへのかけはし

お昼休みなどには抵抗力を守る楽しい企画がいっぱいです。